

一

問一 本領

問二 エ

問三

相手の自発的行動なくしてはゴミを集められない「並んでいるゴミ箱」とは異なり、〈ゴミ箱ロボット〉は、自らゴミを探し回り、自分では見つけたゴミを拾うことはできなくても、見る者の手助けを引き出し、ゴミ箱としての機能を補充、追加していく、という違い。

問四

少しのつまずきで動けなくなる、想定外のことに對して柔軟性に欠ける「脆さ」を持つ反面、そのも脆さゆえに周囲のやさしさを引き出し、手助けや工夫を加えて機能を向上させる「しなやかな強さ」を持つ、というように「脆さ」と「強さ」が表裏一体であるということ。

問五

「料理店」が認知症のスタッフによる注文ミスの可能性があるという店の「弱さ」をさらけ出すことで、互いの立場を超えて助け合うシステムを作ることができた。また、ハサミは、人の柔らかい手という「柔弱さ」を鋼の強さで補うと同時に、鋼の強さを人の柔らかい手で補って役立てている。このように、互いの弱みは補完し合う相互作用によって強みに変えられる、という考え。

問六 エ

二

問一 A 挙句 B 真似た C 語気

問二 虫

問三

貧相な食事や見世物となっている現状を、イザベラを思いやり、彼女のために村人たちに苦情を言い、戦ったのに、守ったはずの肝心のイザベラから、村人たちを思いやった立場で叱られ、自分の労力と気づかいが二重に無駄になったことをいまいしく思ったから。

問四

日本人の自分ですら知らなかった日本の一部の貧困さや無学な状況が放置されているさまを書かれて外国に知られては、大部分では清潔で設備の整った文化の発展した日本が野蠻で貧しい国だと誤解されてしまい、下に見られることを恐れるとともに、日本人としての誇りや立場を傷つけられた気もちになったから。

問五

日本にも行政が行き届かないために学校や病院という基幹システムもなく、貧しさからぬ

け出せない人々がいて、それでもそこにいる人たち、特に子供は、親切に對しお礼を言うために見送りに来るほど純粹で、不憫である、ということ。